



夕刊
行發日八月一
(昭和十五年九月二十日)

西郷草履の會に入會を望む

佐久間重臣

我々は幾々紀元二千六百まで我々は只驚くのみで、年を迎へて光輝ある帝國の...

同時に戦地に於ける將兵がねばならないが、國民が士に感服し、戦隊軍人に對する一人として雄々しく爲す...

我が國の戦出の算の上、生活に要する物價なども、一年二年後の現狀は...

○もの云はす後、うとん代へする兵は疲れて汗垂らしをり...

1月9日
△農務省の苗字刀の制を廢す(明治和條約成立(大正九)...

迎年祈正
渡邊 青州
曉色蒼々神城清...

振袖横町
須藤 一
浪人石抱(十)

南都松若丸
源次郎は、悲しい知らせを聞き、...



招華微笑
不可分な市の工
冷水でない老人の熱情...

源次郎は、悲しい知らせを聞き、...

福島縣警署種畜場
北里研究所
平産業養殖組合事務所

福島縣警署種畜場
出張所 本縣前...

集
永続者には將來の保證を致します
ボーイさん

石綿ムシカマド
平市五丁目
釜屋商店

精神科
福島縣立代用精神病院
郡山脳病院

國民精神總動員
寫眞週報
西村藥局

生命
ビクターラヂオ
代理店 富永ラヂオ店

吸入用酸素
阿康藥局
平市古鍛冶町一〇(縣社下)

生花教授
須藤 しのぶ
病室・手術室完備
婦人科 醫學博士

科外生徒募集
邦文タイプライター科
平陽女學校

原口のラヂオ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會

安齊醫院
院長 安齊 徹
桑原柔道整骨院
平市公園下電六七四

市立工業學校

市の縣立工業學校問題が新學年々最も快明なる進行...

愈よ今日から本腰に

興亞のお正月気分昨日限り解消 活氣に入つた市内點景

教員に見學を求め 勞務資源開拓

日製郡下に觸手

他地方へ爲に差遣り絶望感 必要に迫られ乍ら...

日用品物價

市役所発表去年末現在の日用品物價の如し

△白米一等一キロ三二錢 △白米二等三〇 五△同三...

健康博覽會

十五日から開催 國民保健衛生思想の作典...

春の幸福者は!

市内にありませんか 債券當籤番號發表

二勇士戦死

夏井村若波出身(内郷村御 台現住)佐藤部隊歩兵...

全町俄に断水す

四倉町上水道は旱魃によつ 協力、近頃野犬狩りを行...

不遇の軍人の家へ 温い老婆の真心

偉いぞ比佐ケンさん 不遇に嘆く「軍人して...

野犬狩り 狂犬豫防に

市で平署と協力 床の成瀬さんはいくく感激...

前科四犯の強か者

自轉車泥の餘罪判る 既報、春の二十六日密行...

満洲現地視察報告

滿洲現地視察報告 志賀ナカ

〔十二〕 假御殿作と異郷に見る純...

疾走する楡の並木路、遙...

和空に響ゆる忠告塔の昭...

立で日露役以降の英三三...

六六柱が大壁に根深く鎮...

官能の世界異變あり

満十五の年齢制限で 平花街に半玉拂底時代

平花街の半玉と云へば、五歳以上...

平花街の半玉と云へば、五歳以上...

平花街の半玉と云へば、五歳以上...

平花街の半玉と云へば、五歳以上...

平花街の半玉と云へば、五歳以上...

平花街の半玉と云へば、五歳以上...

平花街の半玉と云へば、五歳以上...

平花街の半玉と云へば、五歳以上...

平花街の半玉と云へば、五歳以上...

平花街の半玉と云へば、五歳以上...

平花街の半玉と云へば、五歳以上...

平花街の半玉と云へば、五歳以上...

産婦人科

井坂醫院

平市田町 電五五九

見習看護婦入用

吉田眼科醫院

平市紺屋町 電話六八番

吉田久雄

平市紺屋町 電話六八番

平市紺屋町 電話六八番

平市紺屋町 電話六八番

平市紺屋町 電話六八番

平市紺屋町 電話六八番

平市紺屋町 電話六八番

平市紺屋町 電話六八番

北川外科

北川芳夫

平市新川町(電四六四)

血液検査毎日 平市新川町(電四六四)

血液検査毎日 平市新川町(電四六四)

血液検査毎日 平市新川町(電四六四)

血液検査毎日 平市新川町(電四六四)

血液検査毎日 平市新川町(電四六四)

血液検査毎日 平市新川町(電四六四)

血液検査毎日 平市新川町(電四六四)

血液検査毎日 平市新川町(電四六四)

血液検査毎日 平市新川町(電四六四)

血液検査毎日 平市新川町(電四六四)

血液検査毎日 平市新川町(電四六四)

小瀧は招く

小瀧

新川町郵便局向

電話小名漢一〇三

電話小名漢一〇三

電話小名漢一〇三

電話小名漢一〇三

電話小名漢一〇三

電話小名漢一〇三

電話小名漢一〇三

電話小名漢一〇三

電話小名漢一〇三

電話小名漢一〇三

電話小名漢一〇三